

平成24年度第4回工学システム学類教育会議議事次第

- 1 日時 平成24年7月11日(水) 15:00～
- 2 場所 工学系F棟 3F400会議室
- 3 審議事項
 - (1) 平成24年度第3回工学システム学類教育会議議事要旨(案)の確認について・・・資料1
 - (2) カリキュラムについて・・・資料2
 - (3) 教育点検改善について・・・資料3
 - (4) 高専編入生の単位認定について
 - (5) FD委員会について
 - (6) 2学期入学者の夏季補講について・・・資料4
 - (7) 学群共通数学再教育プログラムについて・・・資料5
 - (8) 非常勤講師の任用について・・・資料6
 - (9) 平成24年度第1学期期末試験結果に基づく成績不振学生の指導について
 - (10) 主専攻内定者の配属について
 - (11) 第1回クラス連絡会について・・・資料7
 - (12) 学籍異動について・・・資料8
 - (13) その他
- 4 報告事項
 - (1) 7月期入試(AC第Ⅱ期、第2学期推薦入試及び3年次編入学試験)の結果について・資料9
 - (2) 大学説明会について・・・資料10
 - (3) 講師派遣・本学見学等の依頼について
 - ・附属駒場高等学校研究室訪問(7/12) 浜中講師
 - ・茗溪学園SSH講演会講師派遣(7/17) 庄司准教授
 - ・茨城県立下館第一高等学校出前講義(7/30) 掛谷准教授
 - ・茨城県立境高等学校(10/24) 相山准教授
 - ・福島県立磐城高等学校(12/5) 鈴木准教授
 - ・福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(12/6) 文字准教授
 - (4) 学群教育会議(6/19)、学群運営委員会(6/27)報告・・・資料11
 - (5) 3専攻教育会議報告・・・資料12
 - (6) その他
- 5 配付資料
 - (1) 平成24年度第3回工学システム学類教育会議議事要旨(案)
 - (2) 平成24年度第3回カリキュラム委員会議事録(案)
平成24年度工学システム学類第4回カリキュラム委員会2学期制編成WG議事メモ(案)
工学システム学類TA実績(H23)
 - (3) 平成24年度(2012年度)PDCA幹事会
 - (4) 平成24年度2学期入学者の夏季補講実施計画案
 - (5) 学群共通数学再教育プログラム関係資料

- (6) 平成24年度非常勤講師任用計画書
- (7) 平成24年度工学システム学類クラス連絡会（第1回）議事録
- (8) 学籍異動について
- (9) 平成24年度アドミッションセンター入試（第Ⅱ期）実施状況
- (10) 「平成24年度受験生のための筑波大学説明会」の実施内容等
- (11) 平成24年度第3回学群教育会議議事次第
第203回第三学群運営委員会議事次第
第43回理工学群運営委員会議事次第
- (12) 2012(H24)年度第4回知能機能システム専攻教育会議、
2012(H24)年度第4回知能機能工学域教員会議
平成24年度第4回構造エネルギー工学域教員会議、
平成24年度第4回構造エネルギー工学専攻教育会議
2012年度第4回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議

平成24年度第3回 工学システム学類教育会議議事要旨（案）

- 1 日 時 平成24年6月20日(水) 15:10～16:40
- 2 場 所 工学系F棟 3F400会議室
- 3 出席者 構成員 西岡(議長)、岩田、宇津呂、大田、葛岡、白川、堀(憲)、丸山、水谷、宮本、安信、掛谷、亀田(能)、古賀、鈴木、中内、長谷川(学)、長谷川(泰)、望山、矢野、若槻、延原、海老原、石田、奥野、京藤、金野、境、武若、寺本、磯部、岡島、笠原、亀田(敏)、庄司、堀(三)、松田(哲)、文字、高田、花田
・・・以上40名(定足数34名)
- 4 配付資料
 - (1) 平成24年度第2回工学システム学類教育会議議事要旨(案)
 - (2) 年度別工学システム学類各種委員会委員名簿一覧
 - (3) 平成24年度工学システム学類第2回カリキュラム委員会議事録案
平成24年度工学システム学類第3回カリキュラム委員会2学期制編成WG議事メモ
 - (4) 第2回PDCA委員会
 - (5) 平成23年度工学システム学類ティーチングポートフォリオ(TP)提出確認表
工学システム学類授業評価アンケート
 - (6) 平成24年度第三学群工学システム学類卒業判定について(平成24年7月25日付け卒業)
 - (7) 平成24年度工学システム学類3年次編入生単位認定申請者一覧
 - (8) 平成24年度非常勤講師任用計画書
 - (9) 平成24年度科目等履修生受入可否一覧表(2学期)
平成24年度第2学期履修申請科目一覧
 - (10) 平成24年度第2学期推薦入試実施状況
平成25年度学群編入学試験実施状況
平成24年度アドミッションセンター入試(第Ⅱ期)実施状況
 - (11) 障害学生に対する期末試験への配慮について
 - (12) 群馬県立沼田女子高等学校の筑波大学見学(報告)
 - (13) 平成24年度第2回学群教育会議議事次第
 - (14) 2012(H24)年度第3回知能機能システム専攻教育会議、
2012(H24)年度第3回知能機能工学域教員会議
平成24年度第3回構造エネルギー工学域教員会議、
平成24年度第3回構造エネルギー工学専攻教育会議
2012年度第3回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議
 - (15) 平成24年度学園祭の構成員援助金について(お願い)
- 5 回覧資料
 - (1) 平成24年度第1学期末工学システム学類卒業判定資料
 - (2) 他大学等において修得した単位等に係る単位認定通知書(案)
 - (3) 大学院推薦入試推薦リスト

6 審議事項

(1) 前回議事要旨(案)の確認について(両学群)

平成24年度第2回工学システム学類教育会議議事要旨(案)は、原案どおり承認された。

(2) 平成24年度学類各種委員会について(両学群)

議長から、資料2に基づき説明があり、ホームカミングデー委員に矢野准教授を追加し承認された。

(3) カリキュラムについて(両学群)

境カリキュラム委員会委員から、資料3に基づき、平成24年度第2回カリキュラム委員会および第3回カリキュラム委員会議事内容について説明があった。

2学期制移行に伴う時間割について種々意見交換があり、次回学類教育会議において時間割を決定する必要があることから、意見がある場合は1週間以内にカリキュラム委員会まで申し出てほしい旨依頼があった。

また、長谷川(学)数学担当教員から、1年生の数学科目の成績傾向について説明があった。

(4) 教育点検改善について(両学群)

武若教育点検改善委員会委員長から、資料4に基づき、第2回PDCA委員会議事内容の説明があり、クラス担任および指導教員に対し1学期の面談記録を残してほしい旨依頼があった。

(5) FD委員会について(両学群)

寺本FD委員会委員長から、資料5に基づき、ティーチングポートフォリオの提出状況および授業評価アンケートについて説明があった。

(6) 平成24年度第1学期末卒業判定について(第三学群)

議長から、資料6および回覧資料1に基づき説明があり、1学期末卒業予定者1名について、7月11日までに卒業要件を充足することを条件に承認された。

(7) 編入学生の他大学等において修得した単位認定について(理工学群)

議長から、資料7および回覧資料2に基づき説明があり、原案どおり承認された。

(8) 大学院推薦入試への学生推薦について(理工学群)

望山4年生クラス担任から、回覧資料3のとおり推薦者を決定した旨説明があり、承認された。

(9) 非常勤講師の任用について(両学群)

議長から、資料8に基づき、授業日程の関係で任用期間を変更する旨説明があり、承認された。

(10) 学類パンフレットについて(理工学群)

松田(哲)パンフレット・広報WG委員から、今年度のパンフレットを6,500部印刷し、本日納品となった旨説明があった。

(11) 平成24年度科目等履修生(第2学期)の受入れについて(理工学群)

議長から、資料9に基づき、科目等履修生の受入れと科目の履修を可とした旨説明があり、承認された。

(12) その他

・亀田（敏）学生担当教員から、1学期のクラス連絡会を7月5日（木）に開催する旨説明があり、承認された。

7 報告事項

(1) 第2学期推薦入試、編入学試験及びAC入学試験（第Ⅱ期）について（理工学群）

議長から、資料10に基づき、平成24年度第2学期推薦入試実施状況、平成25年度学群編入学試験実施状況および平成24年度アドミッションセンター入試（第Ⅱ期）実施状況の報告があった。

また、入試実施に当たり、協力願いたい旨依頼があった。

(2) 障害学生に対する期末試験について（両学群）

議長から、資料11に基づき、配慮願いたい旨依頼があった。

(3) 大学説明会について（理工学群）

議長から、研究室見学および模擬講義に協力してほしい旨依頼があった。

(4) 講師派遣・本学見学等の依頼について（理工学群）

若槻准教授から、資料12に基づき、群馬県立沼田女子高等学校本学訪問について報告があった。

(5) 学群教育会議（5/22）報告（両学群）

議長から、資料13に基づき報告があった。

(6) 3専攻教育会議報告（両学群）

資料14に基づき、以下の報告があった。

① 2012（H24）年度第3回知能機能システム専攻教育会議（岩田専攻長）

2012（H24）年度第3回知能機能工学域教員会議

② 平成24年度第3回構造エネルギー工学域教員会議（奥野教授）

平成24年度第3回構造エネルギー工学専攻教育会議

③ 2012年度第3回システム情報工学研究科リスク工学専攻教育会議（金野教授）

(7) その他

・平成24年度学園祭の構成員援助金について

議長から、資料15に基づき、協力願いたい旨依頼があった。

・亀田（能）計算機委員会委員から、①計算機室の利用規定違反に注意してほしいこと、②有料ソフトウェアの管理を徹底してほしいこと、③計算機委員会委員として構造エネルギー工学域からも2名程度選出してほしいこと、の依頼があった。

次回日程（予定） 平成24年7月11日（水） 15:00～

資料2

平成24年度第3回 カリキュラム委員会 議事録(案)

1. 日時： 平成24年6月29日(金) 13:30~15:30
2. 場所： 3B棟3階 工学システム学類長室
3. 出席者： 西岡(学類長)、坪内(委員長)、丸山(知的主任)、~~星野聖(機能主任)~~、境(環境主任)、奥野(エネ主任)、古賀、掛谷、亀田能(知的機能選出)、庄司、松田昭、金子(環境エネ選出)、堀(前学類長) (敬称略)

4. 議題

- (1) 前回カリキュラム委員会議事録の確認 [資料0-2]
- (2) 年間作業日程について[資料0-2]
- (3) 科目変更事項等について
 安信より総合科目世話人交代検討の依頼
- (4) 2学期制導入に対する作業について[資料1]
- (5) その他

5. 配付資料

- [資料0-1] H24年度カリキュラム委員会作業予定表
[資料0-2] 第2回カリキュラム委員会議事メモ
[資料1] (平成25年度から実施する2学期制の実施に向けた検討状況に関するアンケート及び意見・課題等に関する調査について)
[資料2] 2学期制1年生時間割案

6. 議事 (以下、敬称略)

(1) 第2回カリキュラム委員会議事録の確認

第2回の議事録に、「来年度のカリキュラム・時間割編成において、大学から示されている2学期制のガイドラインにやむなく沿えないケースが生じた場合は、再来年度以降、年次進行に応じてできる限り沿うように見直す」ことについて、記述が抜け落ちていたため追記する。

(2) 年間作業日程について

(3) 科目変更事項等について

本年度まで3年間、安信に担当いただいた総合科目世話人について、来年度から別の教員への交代の検討の同教員から依頼があった。この検討は、星野(聖)にお願いすることとした。

(4) 2学期制導入に対する作業について

- ① 丸山から資料2に基づき、来年度1年生時間割案の説明があった。
 - 線形代数は現行の2単位3科目を3単位2科目に再編する。
 - 情報処理は全学の科目で分割できないので、春ABに実施する。
 - 宇宙工学は秋ABの月曜5限に配置する。

- 解析学と物理（力学・電磁気学）の配置については、合計5つの案が示された。

5つの案のうち、物理については力学を現行通りに実施し、電磁気学を秋BCの金曜3、4限に入れる案が教育的には望ましい。しかし、2年生の実験と重なるため、単位を落とした場合、2年生で再履修ができなくなる。これに対応する策として、現行の実験が2年生は金曜午後、3年生は木曜午後実施であるのを逆にして、2年生を木曜、3年生を金曜実施にする案が検討された。ただし、新時間割に対する再履修は再来年度以降に生じる問題のため、必ずしも来年度から実施する必要は無い、との意見も出たが、早期に実施できるのであれば来年度から実施するほうがよいとの結論となった。

解析学は内容的に3単位×2にしにくいいため、解析学Ⅱを秋A週2コマ、秋B、Cを週1コマ、解析学Ⅲを秋A、Bを週1コマ、秋Cを週2コマ実施してそれぞれ2単位分を確保する案が望ましい。

- ② 丸山から、知的・機能の2年生以降の時間割について、春学期と秋学期にまたがる科目解消は、一部科目を重ねて開講すれば可能であることが示された。また、春C開講の計算機序論Ⅱ-1の試験時期が8月中旬にずれ込むことを防ぐため、計算機序論1と合併する、あるいは開講時限をあわせて日程を調整し7月末に終われるようにする案が示された。
- ③ 奥野から、環境・エネルギーの2年生以降の時間割について、春学期と秋学期にまたがる科目は、当初原案に戻す、あるいは2単位の科目を1.5単位に減らすことで解消できる可能性があることが示された。ただし、1.5単位の科目を立てる場合、履修要覧の修正が必要にならないように気をつける必要がある。さらに、科目の数自体を減らすことについても要検討である。
- ④ 以上の議論から、来年度から春学期と秋学期にまたがる科目をほぼ解消できそうな目処がたった。2年生以降のカリキュラムも来年度から2学期制にできるだけ対応するように変更する準備を進める。ただし、科目編成や講義内容の問題から、どうしても来年度の編成では解決できない場合は、再来年度以降も継続して改善を行い、2学期制に徐々に対応してゆく。7月2日の2学期対応ワーキングで2学期制に対応したカリキュラムの具体案を議論し、検討結果を7月11日の教育会議にはかる。
- ⑤ 7月11日教育会議の後、現在の編成案について、1. 新入生の履修計画、2. (3年次)編入生の履修計画、3. 必修科目が不合格になった場合の再履修計画、4. 建築士資格関係の履修計画、5. 教員免許取得希望者の履修計画、6. JABEE維持のための学習時間や講義の流れ、7. その他想定しうるケース、などについてシミュレーションを行い、齟齬がないかを確認する。齟齬があれば修正案ないしはそれに関する対応を作成し、成案は9月の教育会議にはかり、最終案とする。
- ⑥ 同様に、科目名の変更や科目内容の改編がある場合は、過年度生の履修や再履修について、科目の読み替え等の措置案も作成する。

(5) その他

全学学群教職課程委員会の担当教員について、現職の坪内から別の教員に来年度からの交代をお願いすることとした。人選については坪内から案を出すことにした。

(6) 次回カリキュラム委員会 H24年7月25日 13:30～学類長室、2学期制対応WG 8月2日 13:30～

平成24年度 工学システム学類第4回 カリキュラム委員会 2学期制編成WG議事メモ (案)

1. 日時 平成24年7月2日, 13:00-15:00
2. 場所 3B315 (学類長室)
3. 出席者: 西岡(学類長)・坪内(委員長)・星野(聖)(機能主任)・丸山(知的主任)・奥野(エネ主任)・境(環境主任)・亀田(能)・古賀・掛谷・松田(昭)・金子・堀(前学類長)
4. 配布資料
 - 資料1 2学期制に向けた外国語の教育課程編成方針について(報告)(外国語センター長作成, H24. 6. 27)
 - 資料2 工学システム学類H25 年度2 学期制検討メモ(2011 年6 月28 日委員会資料)(平成23年6月28日 安信)
5. 議事
 - ・資料1について坪内より紹介があった。
 - ・資料2について, ほぼ1年前の状況における当学類の検討状況がわかる資料として, 参考として配布した旨, 坪内より紹介があった。資料の中に, 当資料作成時の検討事項があるので, 原題会の編成案において, これらの検討事項に照らしてのチェックができる部分があるので活用してほしいとの紹介があった。

 - ・春秋Aモジュールにまたがる講義を極力減らす再編案作成について, 2年次以降の検討状況について, 丸山より知的/機能工学システム主専攻について, 境, 奥野より同様に環境開発工学主専攻, エネルギー工学主専攻について説明があった。
 - ・それぞれ, 関連する教員との連絡などを行いながらできる限り調整し, 調整後の案を7月教育会議にはかることとした。調整については, 適宜現状の案をMLに流し, 不具合などについては教員からフィードバックを得るようにする旨申し合わせた。

 - ・本WGの第5回は8月2日13時30分~学類長室。

1年次共通+知的・機能(2年次以降)

1年	月	火	水	木	金
1	春A	春C	春B	春A	春C
2	春B	春C	春B	春A	春C
3	春C	春B	春A	春C	春B
4	春A	春C	春B	春A	春C
5	春B	春C	春B	春A	春C
6	春C	春B	春A	春C	春B
1	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
2	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
3	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B
4	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
5	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
6	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B
1	春A	春C	春B	春A	春C
2	春B	春C	春B	春A	春C
3	春C	春B	春A	春C	春B
4	春A	春C	春B	春A	春C
5	春B	春C	春B	春A	春C
6	春C	春B	春A	春C	春B
1	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
2	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
3	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B
4	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
5	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
6	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B
1	春A	春C	春B	春A	春C
2	春B	春C	春B	春A	春C
3	春C	春B	春A	春C	春B
4	春A	春C	春B	春A	春C
5	春B	春C	春B	春A	春C
6	春C	春B	春A	春C	春B
1	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
2	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
3	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B
4	秋A	秋C	秋B	秋A	秋C
5	秋B	秋C	秋B	秋A	秋C
6	秋C	秋B	秋A	秋C	秋B

工学システム学類TA実績(H23)

H24.7.10 松島先生 判

執行額

単価	時間数	執行金額	計
1,290	10,083.0	13,007,070	16,300,205
1,470	600.5	882,735	
1,600	1,506.5	2,410,400	

月別実績額

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
@1290	961,695	1,580,250	1,455,765	34,830	1,311,285	2,082,705	1,673,775	1,468,020	1,099,080	1,302,900	36,765	13,007,070
@1470	101,430	173,460	155,085	0	72,765	97,020	93,345	72,765	58,800	58,065	0	882,735
@1600	160,800	268,000	216,000	0	268,800	412,000	356,000	274,400	176,800	252,000	25,600	2,410,400
合計	1,223,925	2,021,710	1,826,850	34,830	1,652,850	2,591,725	2,123,120	1,815,185	1,334,680	1,612,965	62,365	16,300,205

月別時間数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
@1290	745.5	1225.0	1128.5	27.0	1016.5	1614.5	1297.5	1138.0	852.0	1010.0	28.5	10,083
@1470	69.0	118.0	105.5	0.0	49.5	66.0	63.5	49.5	40.0	39.5	0.0	601
@1600	100.5	167.5	135.0	0.0	168.0	257.5	222.5	171.5	110.5	157.5	16.0	1,507
合計	915.0	1510.5	1369.0	27.0	1234.0	1988.0	1583.5	1359.0	1002.5	1207.0	44.5	12,190

※研究科経費及び各専攻経費含む

2012年7月11日, PDCA 委員会報告(武若)

平成24年度(2012年)度 PDCA 幹事会

日時: 平成24年6月29日(金)15:30-16:45

場所: 学類長室

出席者: 西岡(学類長), 坪内(カリキュラム), 武若(委員長), 笠原, 山下, 澁谷(PDCA 委員)

1. 高専編入生の単位認定について
2. JABEE 講習会の参加者について
3. 科目ファイル整理
 - a. 2011年度3学期の整理状況の確認
 - b. 2012年度1学期の資料整理の依頼
 - c. 保管庫の現状確認
 - d. 2013年度以降の科目ファイル整理
4. 学類の各種資料のアーカイブ
 - a. 委員会, クラス担任主任等の把握
5. 学生の自己点検, 達成度自主確認
 - a. 2012年度の実施回数, 卒業予定者, 1・2・3年生
 - b. 紙版の準備
6. 予算(革新的な教育プロジェクト支援経費)の使途
 - a. 事務作業の補助(短期雇用)は有効か?
7. その他

平成24年度 2学期入学者の夏季補講 実施計画案

	夏季補講+2学期入学者向け科目	2学期入学者向け科目	2学期入学者向け全学科目
8月6日(月)		オリエンテーション(候補1)	
7日(火)		オリエンテーション(候補2)	
8日(水)		オリエンテーション(候補3)	
9日(木)		オリエンテーション(候補4)	
10日(金)		オリエンテーション(候補5)	
13日(月)			全学一斉休業
14日(火)			全学一斉休業
15日(水)			休業が望ましい
16日(木)			休業が望ましい
17日(金)			休業が望ましい
20日(月)	線形代数基礎(鈴木)		
21日(火)	線形代数基礎(鈴木)		
22日(水)	線形代数基礎(鈴木)		第2外国語(集中)
23日(木)		力学(松田昭)	院試(後期・社会人)
24日(金)		力学(松田昭)	院試(前期)
27日(月)			2学期入学式・全学ガイダンス
28日(火)	解析学基礎(河合)		
29日(水)	解析学基礎(河合)		
30日(木)	解析学基礎(河合)		
31日(金)			系+研究科運営委員会

集中講義日程決定

学群共通数学再教育プログラム(工学システム学類)	
科目番号	FA55 124
授業科目名 (単位数)	解析学(微積分)基礎 (1.0)
実施日時	8月28日(火)、29日(水)、30日(木) 9:00~12:00
担当教員	13:00~16:00 河合 達雄 先生(非)
対象	本年度1学期開講の解析学Ⅰの履修者で単位を取 得しなかった者(工学システム学類生に限る)
教室	未定(決定次第お知らせします)
履修申請期間	8月30日(木)までにTWINSから申請
備考	1. 2学期以降開設の数学および物理学関連科目の 修得が円滑に進むことを目的に開講するので、対象 学生はできるだけ履修することを推奨する。 2. 卒業要件には含まれない。

集中講義日程決定

学群共通数学再教育プログラム(工学システム学類)	
科目番号	FA55 224
授業科目名 (単位数)	線形代数基礎 (1.0)
実施日時	8月20日(月)、21日(火)、22日(水) 9:00~12:00
担当教員	13:00~16:00 鈴木 弘之 先生(非)
対象	本年度1学期開講の線形代数Ⅰの履修者で単位を 取得しなかった者(工学システム学類生に限る)
教室	未定(決定次第お知らせします)
履修申請期間	8月30日(木)までにTWINSから申請
備考	1. 2学期以降開設の数学および物理学関連科目の 修得が円滑に進むことを目的に開講するので、対象 学生はできるだけ履修することを推奨する。 2. 卒業要件には含まれない。

平成24年度 非常勤講師 任用計画書

理工学群工学システム学類

【担当科目追加】

No.	新規 継続	ふりがな 氏 名	(科目番号) 担 当 科 目 名	任用予定 期 間	時間数	曜時限	実 施 学 期	責 任 者 (世話人)
1	新規	かわい たつお 河合 達雄 (昭22.8.15生)	(FA55 124) 解析学(微積分)基礎	H24.4.1 ? H25.3.31 (任用済)	15h	集中	1・②・3	西岡 牧人 (正司 秀信) 内線:5354
2	新規	すずき ひろゆき 鈴木 弘之 (昭22.8.9生)	(FA55 224) 線形代数基礎	H24.8.1 ? H24.11.30 (任用済)	15h	集中	1・②・3	西岡 牧人 (境 有紀) 内線:5056

平成24年度 非常勤講師 任用計画書

理工学群 工学システム学類

No.	新規 継続	ふりがな 氏 名	(科目番号) 担当科目名	任用予定 期 間	コマ数	時間数	曜時限	実 施 学 期	現 職 名	責 任 者 (世話人)
1	新規	あゆざわ さとし 鮎澤 聡 (昭36.7.26生)	(FG12011) バイオシステム基礎	H24.12.1 } H25.3.31	2	3h	月4.5	1・2・③	筑波技術大学保健科学部保健学科 准教授	西岡 牧人 (山海 嘉之) 内線:5151

平成24年度工学システム学類クラス連絡会（第1回）議事録

学生担当教員
亀田敏・望山

□日時：平成24年7月5日（木）18:30～20:45

□場所：3B204室

□出席者：21名

西岡（学類長）、坪内（カリキュラム委員長）、武若（PDCA委員長）、鬼沢（1年クラス担任）、掛谷（カリキュラム委員）、亀田敏・望山（学生担当教員）、赤羽（支援室）、学生11人（3年生1名、2年生3名、1年生7名）

□配布資料（学生より）：

- ・資料1：2学期生への移行に伴う教育課程の編成におけるの要望（フレセミで実施他1年生へのアンケート結果を踏まえて）
- ・資料2：知識情報・図書館学類における二学期制対応について（参考資料）

○2学期制への移行について

西岡学類長および坪内カリキュラム委員長より現状の説明がなされ、その後意見交換が行われた。

・2学期制への移行について、学類生に対しての説明の場を設けてほしい。また、事前にカリキュラム案の資料に目を通せると嬉しい。ちなみに知識情報・図書館学類では、カリキュラム案のPDFが公開されている（資料2）。

→学生との意見交換は非常に重要なので、説明会については9月頭（できれば3日の週）に実施する。日程・場所などは決まり次第、掲示などでアナウンスする。実施については学類生に連絡してもOK。カリキュラム案を事前に提示することについては、7/11教育会議で審議し、結果を7月末までに学生担当教員経由で連絡する。OKとなった場合も、開示の方法（紙媒体／電子ファイル）については検討させてほしい。

・教職・建築士への対応は？

→建築士については、現在努力をしているところ。教職については他学類との関係もあるので、しばらくの間、履修しにくい時期があるかもしれない。Eシスでは教職をとる人数が少ない（2、3人程度）が、集中講義で対応するということになるかと思われる。

・春AB、秋ABに授業を詰めずに、春C、秋Cに分散をさせて欲しい。

→最近の修正によって、実現できているはず。

・Ⅰ、Ⅱ、ⅢからⅠ'、Ⅱ'となる科目を再履修する場合はどうなるのか？

→再履修に対しては、必ず割当表を作成する。最悪でも集中授業で対応。

・期末テストのタイミングは？

→科目ごとにタイミングが異なり、分散される方向。

・履修登録の時期はいつ頃になるのか？

→メインは春Aと秋Aの頭になると思われる。

・75分授業に対する公式見解はあるのか？

→2学期制についての紫色のチラシ（「筑波大学における授業運営体制の改革に対応する運用ガイドラインの概要」）に「他大学を先導する本学の役割を明確にするために、これまでの1コマ=75分授業を維持する」と記載されている。

○授業に関して

・昨年度もそうだったが、実験指導書（物理学実験や知的・機能基礎実験）の情報が更新されていなかったり（使わない古い装置の情報が載っている等）、印刷が薄いところがあったりしたので改善してほしい。

→教育会議で要望を伝える。

・試験期間外に期末テストを実施した科目があった。しかもアナウンスが急であったため、予定をキャンセルしなければならない例があった。テストは試験期間内に実施してほしい。

→教育会議で要望を伝える。試験監督の代理などで対応できると思う。どうしても避けられない場合は、早目に連絡をするようにする。

○その他

・計算機室のプリンタ用紙が夜不足していることがあるので、どこかに置いておいてほしい。

→計算機室に伝える。

・計算機室にMacを置いてほしい。研究でMacを使っているところもあると聞いたので。インターフェースなどの使い勝手を知れると嬉しい。情報や応用理工の計算機室には置いてある。

→計算機担当に伝える。どのくらい要望があるのかなどの定量的なデータがあると説得力がある。

・KDBとTWINSの連携、またシラバスは来年度どうなるのか？全学の会議で意見を求められたので、工シスの現状を知りたい。

→未定。

・他学類開設の科目でTAが試験監督をしているものがあつた。

→学類長経由で当該学類長に伝える。

・学外の講師が授業をする特設科目で、欠席届を提出しようとしたところ、学内世話人が明記されておらず、支援室と本部に聴きに行ったがたらい回しにされた。

→おそらく本部の教育推進部が担当している科目。こちらからも意見を述べることでできる場で伝えるが、全学的な会議で学生から意見を出した方が効果的。

○教員・事務から学生への要望

・計算機室に缶コーヒーが置いてあり、申し出もなく、結局計算機室を1日閉鎖する措置となった。メールで注意喚起をしたところだが、クラス会議の場でも、自主的にモラルを守ってほしいと伝えてほしい。

・1学期が終わった時点で、学生事故が多かった。メンタルの問題も出てきているので気を付けてほしい。

9月に防災訓練があるので積極的に参加してほしい。

以上

資料8

学籍異動について

【新規の異動】（承認事項）

休学	H24.7.1～H25.3.31	1名
休学	H24.8.1～H25.3.31	1名

平成24年7月1日現在

学年	人数	現在の状況
第1学年	163名	休学 4名
第2学年	136名	休学 0名
第3学年	150名	休学 0名
第4学年	153名	休学 2名
計	602名	休学 6名

資料9

学群・学類	募集人員 人	志願者数 人	志願率 倍	第1次選考		第2次選考			最終合格者数 人	入学 辞退者数 人	入学 者数 人
				合格者数 人	不合格者数 人	受験者数 人	欠席者数 人	不合格者数 人			
人文・文化学群	人文学類										
	比較文化学類										
	日本語・ 日本文化学類										
	計										
社会・国際学群	社会学類										
	国際総合学類										
	計										
人間学群	教育学類										
	心理学類										
	障害科学類										
	計										
生命環境学群	生物学類										
	生物資源学類										
	地球学類										
	計										
理工学群	数学類										
	物理学類										
	化学類										
	応用理工学類		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	工学・工学類	若干名	3	-	2	1	1	1	1	0	0
	社会工学類										
	計	若干名	3	-	2	1	1	1	1	0	0
情報学群	情報科学類										
	情報学・IT 創成学類										
	知識情報・ 図書館学類										
	計										
医学群	医学類										
	看護学類										
	医療科学類										
	計										
体育専門学群											
芸術専門学群											
合計	若干名	(0) 3	-	(0) 2	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0
前年度合計	若干名	(0) 8	-	(0) 1	(0) 7	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1

(注) ()内は、女子を内数で示す。

「平成24年度 受験生のための筑波大学説明会」の実施内容等

学群・学類名〔 理工学群・工学システム学類 〕

開催期日	説明会場	参加者受入可能人数 (付添者を除く。)
8月 1日 (水)	3A204, 3A402, 3A403	600人

時刻	実施内容 (簡潔に記入し、詳細は各教育組織のホームページ等で周知してください。 また、見学等でバスの使用がある場合は、併せて記入願います。)	
9:00	参加者受付開始～10:00	
	3A204 会場(300人)	3A402, 3A403 会場(300人)* (3A204 会場より15分遅れで進行)
9:50	9:50～ 全体説明	
10:00	9:55～ 学類長挨拶 10:05～ 主専攻説明(知的機能) 10:20～ 主専攻説明(環境エネ) 10:35～ 受験情報 10:45～ 学生活動紹介	10:05～ 全体説明 10:10～ 学類長挨拶 10:20～ 主専攻説明(知的機能) 10:35～ 主専攻説明(環境エネ) 10:50～ 受験情報
11:00	11:10～ 質疑応答 11:20～ 昼食	11:00～ 学生活動紹介 11:25～ 質疑応答 11:35～ 昼食
12:00		
	12:30～ 模擬講義	
13:00		12:40～ コース別研究室見学 (15名×20グループ) 1グループで2研究室を見学
14:00	13:40～ コース別研究室見学 (15名×20グループ) 1グループで2研究室を見学	(3A204へ移動) 13:50～ 模擬講義
		* 3A402の音声映像を3A403に配信
15:00	14:50～ 自由見学 L棟計算機室・図書館・宿舎(宿舎見学にバスを利用します) 対応研究室	
16:00		
16:30	説明会終了	

平成24年度受験生のための筑波大学説明会 理工学群工学システム学類 コース別研究室見学対応研究室一覧
 日時:8/1(水) 12:40~14:40(1研究室1班25分×4班)

班	研究室名	教員	テーマ名	場所	自由見学	実験室内線	研究室内線
1・2	知的制御システム研究室	安信誠二	人間の知意をコンピュータに組み込んだ制御を知ろう	3M409	○	6186	5019
	ヒューマン・ロボット・インタラクション研究室	中内靖	省エネルギーと人を見守る空間知能化技術	3M308	○	8263	5131
3・4	通信システム研究室	海老原格	音波にのせてデータを伝えよう	3G203	○	7891	6473
	エネルギーリサーチ研究室/新エネルギーシステム研究室	内山洋司・岡島敬一	地球環境問題とエネルギーシステム	総B726	○	5134	6194・5756
5・6	視覚メテディア研究室	掛谷英紀	飛び出す立体ディスプレイ	3G214	○	5381	5255
	渡部研究室	渡部修	高温破壊の仕組みを探る	理C302	○	6913	5029
7・8	音響システム研究室(水谷)	水谷孝一	反響のない不思議な世界を体験しよう、ほか	VBL102	○	5675	6474
	計算・構造工学研究室	磯部大吾郎	建物の崩壊シミュレーション、ロボット機構のトルクキャンセリングシステムの公開	3E103	○	5387	6191
9・10	デジタル制御研究室	堀憲之	デジタル制御は縁の下の力持ち	3L103	○	6160	6030
	先端複合材料工学研究室	河井昌道	陸・海・空・宇宙・未来に広がるCFRP先端技術!	理D105	×	7354	5353
11・12	柔軟ロボット学研究室	望山洋	やわらかいロボット・触覚テック/ロジ	3L403-1	○	7923	6472
	情報理論研究室	古賀弘樹	大切な情報を守ろう! 一 視覚暗号・電子透かし一	3M210	○	6184	6476
13・14	ハーチャルリアリティ研究室	岩田洋夫・矢野博明	計算機内のパースナルな物体に手や足を使って触れてみよう	3L407-1	○	5120	5362・5062
	建築構造研究室	金久保利之・八十島尊	建築物の高性能化と長寿命化	3H101	○	5480	5045・5257
15・16	生体情報処理研究室	森田昌彦	脳に学ぶ情報処理	3M209	○	6554	5321
	地震防災・構造動力学研究室	境有紀	地震の揺れと被害の関係	3H101	○	5480	5056
17・18	身体運動学研究室	長谷川泰久	上肢支保システムを体験してみよう	3L401-2	○	6398	5259
	熱流体制御・計測研究室	阿部豊・金子曉子	熱と流れを自在に操る	3H106	○	5763・5487	4968・5266
19・20	非線形数理工学研究室	金野秀敏	らせんの不思議と非線形のなぞを体験しよう	総B814	×	6938	5016
	筑波大学ネットワーク工学「結」プロジェクト	亀田敏弘	筑波大学発小型人工衛星「結」について	総B1228	×	5114	5114
21・22	機械知能研究室	滋谷長史	コンピュータを餌付けで学習させてみよう	3E306	○	5428	6788
	災害リスク工学研究室	庄同学	ライフラインの地震・津波に対する信頼性	理D501	○	7368	6190
23・24	自然言語処理研究室	宇津呂武仁	音声で二足歩行ロボットを操作しよう	3E305	○	5427	5427
	樟原研究室	樟原潤	流れの可視化(円管内流れ、眼球内流れ、エアカーテン等)	3D114-1	○	5058	6189
25・26	人間情報処理研究室	鬼沢武久	ヒトの気持ちを理解するコンピュータを体験しよう	3M411	○	6188	5060
	音響システム研究室(若橋)	若橋尚斗	管楽器を吹く機械、ほか	3G224	○	6480	5340

自由見学時間は14:50~16:30

模擬講義(3A204):
 12:30~13:00(A班) 武若隆 「リモートセンシングで眺める日本の国土」
 13:00~13:30(A班) 星野聖
 13:50~14:20(B班) 北原格 「複合現実感・現実と仮想の融合」
 14:20~14:50(B班) 花田信子 「環境調和型エネルギーシステムをデザインする」

A**班: 3A204集合参加者
 B**班: 3A402・403集合参加者
 + : 聴覚障害参加者予定
 # : 運動障害参加者予定

資料 11

平成 24 年度 第 3 回 学 群 教 育 会 議 議 事 次 第

- 1 日 時 平成 24 年 6 月 19 日 (火) 15:10 ~
- 2 場 所 本部棟 5 階 大会議室
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) G P A の取り扱いについて
- (2) 学群学則の一部改正について
- (3) 平成 25 年度入学者選抜要項について
- (4) 平成 25 年度入学試験における実施体制について
- (5) その他

【報告事項】

- (1) 学期制の見直しについて
- (2) 平成 25 年度学群教育課程の編成日程について
- (3) 平成 24 年度 TOEFL-ITP の受験状況について
- (4) 平成 24 年度第 1 学期末卒業式及び第 2 学期入学式について
- (5) 平成 24 年度「革新的な教育プロジェクト支援経費」の選考について
- (6) 平成 24 年度「学群教育用設備整備等事業」の選考について
- (7) 平成 24 年度「学群教育充実事業」の選考について
- (8) 読売新聞「大学の實力」アンケート調査について
- (9) 筑波大学校友会の構築について
- (10) 平成 24 年度入学料免除の選考結果について
- (11) 学生の事件・事故について (5 月分)
- (12) 平成 24 年度学園祭の構成員援助金について
- (13) 平成 24 年度「グローバル人材育成推進事業」「大学の世界展開力強化事業」の申請について
- (14) 学内構成員の「国際性の日常化」に関するワーキング・グループ中間報告書の概要について
- (15) 系の設置に伴う教育研究基盤経費の分割 (中間最終案) について
- (16) 「大学改革実行プラン」について
- (17) その他

【資料報告】

- (1) 平成 25 年度筑波大学入学案内
- (2) 平成 25 年度アドミッションセンター入試学生募集要項 (第 1 期)
- (3) 平成 25 年度国際科学オリンピック特別入試学生募集要項

次回学群教育会議開催日程：平成 24 年 7 月 17 日 (火) 15 時 10 分～

筑波大学 GPA 制度に係わる実施要項（学群）（案）

（目的）

第1条 この要項は、筑波大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。）を算出する制度を定めることにより、学生の学習意欲を高めるとともに、筑波スタンダードが掲げる教育の質の保証について一層の具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的とする。

（評価及び GP）

第2条 学群学期第35条及び筑波大学学群試験実施要項に定める成績の評語、評価記号並びにグレード・ポイント（各評価に与えられる数値（評価点）。以下「GP」という。）は、次表のとおりとする。

評語及び 成績評価記号	GP (評価点)	評価基準	参考（100点満点での目安）
A+	4	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90点以上
A	3	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80～89点
B	2	到達目標を達成している	70～79点
C	1	到達目標を最低限度達成している	60～69点
D	0	到達目標を達成していない	60点未満
P	—	定められた学修水準に到達している（合格）	—
F	—	定められた学修水準に到達していない（不合格）	—

（GPAの種類と算出方法）

第3条 当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「学期GPA」という。）並びに在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA（以下「累積GPA」という。）の2種類とする。

2 学期GPA及び累積GPAの計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位以下は切り捨てるものとする。

(1) 学期GPAの計算式

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{当該学期の総履修登録単位数}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\text{累積GPA} = \frac{(\text{全期間の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

(GPA対象科目)

第4条 当該学群の履修細則に規定する卒業要件に係わる授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の授業科目については、学期GPA及び累積GPA対象科目から除くものとする。

- (1)本学で修得した単位と認定された授業科目
- (2)第2条に定める「P」又は「F」で評価される授業科目
- (3)その他学類長からの要請を踏まえ学群長が指定する授業科目

(成績評価の厳格化)

第5条 各学群長及び各共通科目等運営部会長は、成績評価分布の目標をあらかじめ定め、公表するものとする。

(成績通知と成績証明書)

第6条 各学期の成績通知においては、学期GPAと累積GPAを記載するものとする。

2 成績証明書には、GPAの算出方法などをあわせて記載する。

(雑則)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPAの実施に関し必要な事項は、学群教育会議の議を経て、副学長（教育担当）が別に定める。

附則

1 この要項は、平成25年4月1日から実施し、平成25年度入学者から適用する。

以上

GPA 検討 WG (メモ)

1. 本日の論点 (WG)

① TWINS の改修について(詳しくは歳森委員から)

- ・ 25 年度からの移行を目指して、改修作業は大詰め。今からの大規模な改修は難しい。
- 例 学生が自らの学びの計画と履修規則にしたがって pass/ nonpass 科目指定すること
履修取り消し期間の設定 (履修取り消しは新 TWINS でも想定していない)
- ・ 学群・学類単位の GPA 計算除外科目の指定は可能。
- ・ 学生の履修指導、厳格な成績評価の状況把握などのためのデータ集計設定は導入作業の範囲内で対処できる。分析等は新規の開発が必要。

② 成績評価記号と GPA の集計方法

・ 成績評価記号と評価

成績評価記号	GP (評価点)	評価基準	参考 (100 点満点での 目安)
A+	4	到達目標を十分に達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90 点以上
A	3	到達目標を十分に達成している	80~89 点
B	2	到達目標を達成している	70~79 点
C	1	到達目標を最低限度達成している	60~69 点
P	—	到達目標を達成している	
D	0	到達目標を達成していないので、再履修が必要である	60 点未満

→WG 後の検討において、「P (到達目標を達成している：合格)」、「F (到達目標を達成していないので、再履修が必要である：不合格)」とした。

注 履修放棄は D と同様に扱う (履修上限制度も考慮の上)

・ GPA の計算方式

- (各評価の評価点×単位数) ÷ 総履修登録単位数 (D の単位数を含む)
- 「単位認定科目」「合否のみの科目」は計算式に含めない。
- 「卒業要件外の科目 (教職科目等)」「計算除外科目」は計算式に含めない。

・ GPA の計算単位

- 学期 GPA と通算 GPA の双方を算出する。
- 再履修時の成績の扱い ー ー ー 前回の成績もそのまま (D のまま) 残る。

③ 成績通知と成績証明書

- ・ 各学期の成績通知には学期 GPA とそれまでの通算 GPA を記載する。
- ・ 成績証明書には、GPA の算出方法や成績分布などもあわせて記載し、学生の不利益にならないように配慮する。

④ 成績評価の厳格化、目標水準の設定及び達成状況の公表

- ・ 各学類や共通科目運営部会でその学期に開設され、成績報告された全科目の履修学生全員の成績を学類ごと、あるいは共通科目ごとに集計して公表する。
- ・ 各学類、共通科目運営部会は、成績評価分布の目標をあらかじめ定め、公表する。目標水準の記述例として

「A¹とAの割合をおおむね30%以下とする」

「A¹の割合はAの割合以下、A¹とAの合計の割合をBとCとDの合計の割合以下にする」

- ・ 目標水準の達成に向けて一方法は各学類および共通科目運営部会に任せるが、原則は以下のよう
に考えたい。
 - 学類および、共通科目ごとの集計結果のみを公表するので、達成されたかどうかの判断もこれを用いて行う。
 - ただ、科目ごとの集計、教員ごとの集計なども、学類および共通科目運営部会内での検討に資するため利用可能とする。
 - 科目ごとに成績評価の考え方は異なっても良い（相対主義でも絶対主義でもよい）。
 - 少人数科目の扱いも各学類での協議にゆだねる。
 - 計算除外科目の設定も各学類での協議にゆだねる。
 - 習熟度別クラス編成をとっている場合には、そのことを考慮する。

⑤ 学生の異分野挑戦意欲への配慮

- ・ 関連科目制度の導入など、筑波大学では「幅広い学び」「異分野への挑戦」を奨励してきており、これを大事にしたい。
- ・ しかし、新 TWINS は既に構築段階にあり、学生が自らの判断で「pass/nonpass」を科目ごとに指定する機能を追加することは困難（次期改修時には導入可能）。
- ・ このため、他学類科目、他学群科目、自由科目（特設）等に関しては、学類ごとに判断することを要請する。このときに、他学群科目の履修を奨励するために、他学群科目に関しては GPA 計算から除外する（計算除外科目）ことなどが考えられる。

⑥ 学生ごとの履修指導のための集計

- ・ 取得単位数と学期 GPA、及びその推移は学生の履修指導上、きわめて有用である。このため履修指導に使いやすい形で、簡単に出力できるような機能を TWINS に装備する。
- ・ 各学群・学類での独自の工夫も期待する。Eシス、知識のシートが参考になるう。

⑦ 活用方法

- ・ 学生の履修・学習指導の他にも、多数の活用方策が考えられる。これらについては、各学類のアイデアを活かし、積極的に実践できるような環境の整備に努める。
 - 集計ソフトの充実
 - 発表・意見交換機会の設定（FD活動）
- ・ 以上ともあわせて、筑波大学の成績評価の厳格化と単位の実質化への活動とその実績報告として、広く学内外にアピールすることを考える。

⑧ ガイドラインの作成

- ・ GPA制度の意味と意義の理解が教職員・学生にひろがり、スムーズな導入ができるようにガイドライン（Q&A）を作成する。
- ・ モデルは、北大作成のもの

⑨ GPAの実質化へ向けた時間感覚 — おおむね5年先に成績評価の厳格化、履修登録上限制度の実質化が達成されるくらいの速度感で、課題を一つ一つ解決しながら進めていく。

⑩ 本WGの成果物

- ・ GPA実施規則
- ・ GPA導入ガイドライン（Q&A）

以上

「学期制の見直しについて」の資料

平成22～24年度(2010～2012年度)学期制の検討報告書(案)
—「筑波大学における授業運営体制の改革に対応する運用のガイドライン」—
に関連する意見の整理について(報告)

平成24年6月19日
教育推進部教育機構支援課

標記の報告書(案)について、平成24年5月22日(火)開催の学群教育会議及び大学院教育会議に報告し、意見を提出していただきましたことについて、下記のとおり報告します。

なお、これからは、本日示されました「平成25年度の教育課程の編成日程」に添って教育課程の編成作業が具体的に開始していただきますので、よろしくお願ひします。

【各種要望・意見と対応等】

1. 2学期制で7月末修了を検討する場合、在籍期間を含む大学、大学院制度全体の整理の必要性に関する意見について

○意見1：学生の利便性の観点から、夏休み前の卒業・修了の要望

■対応1：1年間は、12ヶ月確保しなければなりません。(日本国の制度)

○意見2：卒業・修了を指す場合の、在籍期間(標準修業年限)の制度上の問題への対応

■対応2：標準修業年限は、学士課程は4年間、修士課程は2年間、博士後期(3年制博士課程)は3年間、博士課程(5年一貫制)は5年間、医学の博士課程は4年間、専門職博士課程は2年間、法科大学院は3年間と定められています。

○意見3：夏休み前に早期卒業・早期修了の制度を活用する場合の制度の趣旨の整合性

■対応3：早期卒業・早期修了の制度を適用する場合は、そのプロセスを明確化し、プロセスに添った対応が必要です。

【参考：標準修業年限を超過した者の卒業・課程修了について】

①標準修業年限を超過した者の卒業・課程修了の時期は、制度的には柔軟な対応が可能です。

ただし、単位の認定、在籍可能年数、休学・留学期間、卒業・課程修了認定決定等のスケジュール等に留意することが必要です。(学群、研究科(部局)での卒業、修了判定から学位記の授与及び学位記授与式等まで、事務処理上約1ヶ月程度の時間が必要です。このことに対応するためには、スケジュールを繰り上げる等の対応が必要となります。)

②学位記授与式等の式典を卒業日・修了日より前に実施し、学位記を授与することは困難です。(卒業日・修了日以降の実施は可能です。)

2. 成績評価の評語「S」「A」「B」「C」「D」に関する意見について

○意見1：「評価のS」の案を見直すことの要望

■対応1：GPA検討WGで、「A+」「A」「B」「C」「D」の評語とすることを検討中です。

3. モジュールに関連した意見について

○意見5：節電の要請があった場合の春Cモジュールの授業開講に関する意見

■対応5：節電のために春Cモジュールの授業開講が制約された場合は、春Cモジュールの授業の開講の自粛や授業実施方法等を工夫することとなります。

○意見6：授業の開始が学期初めでない場合、学生がTWINSへの履修申請を行う時期等に関する意見

■対応6：TWINSでは、履修申請期間（履修申請期間の最終日等）を必要に応じて個別に設定できます。例えば、モジュールの単位で基本的な“履修申請期間（履修申請期間の最終日等）”を設定する方法や必要に応じて履修申請期間（履修申請期間の最終日）を設定する方法等、個別に対応することが可能です。

○意見7：Bモジュールの授業終了後に、期末試験を行い、採点した場合、成績評価を学生に早急に知らされることに関する意見

■対応7：終了した授業科目の成績評価は、モジュールの単位で速やかに成績評価を確定していただき、当該授業科目の履修学生が確認出来る対応を行います。ただし、当該の授業科目の履修申請者全員の成績評価がなされなければ、成績を確定することができません。

○意見8：各学期の授業週数と試験期間について（平成25年度カレンダー（案）より）、Bモジュール終了後の期末試験期間が終わってからCモジュールだけ開講する授業を開始する場合、学期で確保しなければならない週数に関する意見

■対応8：15週授業の場合、16週目を試験期間とし、学期に16週を確保します。また、10週授業と5週授業を行う場合、11週目と17週目を試験期間とし、学期に17週を確保します。（ただし、5週授業と10週授業とする場合は、6週目と17週目が試験期間となります。）

以上の2つのパターンが授業開講の基本となるが、授業の実施の週と期末試験の週が重複することに留意し、教育課程の編成を行う必要があります。

4. 資料（図表の数値）について

○意見9：資料集の図、表等について、分かり難いという意見。

■対応9：検討報告書及び資料集等の数値の単位等を分かりやすく整理します。

5. 説明会等の開催について

○意見10：説明会等の実施の要望。

■対応10：平成25年度から実施する2学期制について、本ガイドラインの内容を含めて説明会を9月から数回開催することを企画します。ただし、各教育組織の平成25年度の教育課程編成の進捗状況を確認しつつ、日程を調整することとなります。

6. 春学期の授業終了日について

○意見11：入学式の前倒し、オリエンテーションの集中化等の工夫により、8月1日から夏季休暇とすることの要望（はがきによる意見）。

■対応11：アカデミックカレンダーや月曜日の授業実施の柔軟な対応等の観点から数回検討を行いました。原案の8月7日を平成25年度の学年暦の春学期授業終了日としました。

【教育推進部で検討している事項】

7. 平成24年度以前に入学した学生の卒業・修了要件等の柔軟な対応について

学生は入学時に配付する履修要覧（学上課程）や大学院便覧に記載されている学群・学類の履修細則や研究科の細則等（教育課程等に関する部局の細則等（以下「履修細則等」という。））により履修内容・方法、卒業・課程修了等の要件等が示されています。

2学期制への移行は、新たな教育課程を編成することとなりますが、入学時に履修細則等で示されている教育課程を大学は担保し、その整合性を確保しなければなりません。

このため、必要に応じて2学期制への移行前の教育課程に柔軟に対応できる教育課程編成の工夫を行う必要であります。（履修上の柔軟な対応・教育的配慮）

① 3学期制の時期の履修細則等の適用と3学期制の授業科目の内容と単位数に関する配慮

学生は、入学の時の履修細則等を適用するため、平成25年度に開設する授業科目と3学期制の授業科目が比較できる読み替え一覧表等を作成し、該当する学生に周知する必要があります。

比較ができる読み替え一覧表等のイメージの参考例

(○○学類)

平成25年度の開設授業科目						平成24年度の開設授業科目						柔軟な対応の方法
科目番号	科目名	単位数	年次	必修選択	備考	科目番号	科目名	単位数	年次	必修選択	備考	

② 継続履修等に関する配慮

平成24年度に通年の授業科目の履修申請を行い、例えば1学期間授業を履修し、2学期から海外留学等を行うこととなった学生が、帰国後に継続履修の申請を行う場合等の対応方法を整理する必要があります。

このために、継続履修申請者想定される場合には、最新の注意を払って教育課程の編成を行っていただきたい。

8. 10月入学と9月入学に関する課題について

① 10月入学を実施する場合は、標準修業年限満了となる年度の9月が卒業・修了となり、海外の大学等との交流に一部課題が残されています。

② 9月入学を実施する場合は、入学料の免状、授業料の月割り計算や免除等に関する対応の課題が残されています。

③ 秋入学の時期は、10月入学とし、9月入学を柔軟に対応します。

④ 現在、国費優先配置枠等で実施している3学期（12月）入学は、2学期制への以降に伴い、平成25年度からは、10月入学で対応していた抱くこととなります。

担当：学期制の検討に関する全般的な事項：教育推進部教育機構支援課長（羽染）

TEL：2235 e-mail：hasome.somasa.gb@un.tokub.ac.jp

（教育課程編成の担当）

学群教育課程の編成に関する事項：教育推進課学群教務担当

大学院の教育課程の編成に関する事項：教育推進課大学院教務担当

平成 25 年度学群教育課程の編成日程について

【概要】

6 月 1 日開催の第 1 回全学学群教育課程委員会において別紙のとおり平成 25 年度に向けた課程編成のスケジュールを決定しました。

2 学期制への対応に伴い例年より 3 ヶ月早いスケジュールで進めていくこととしているのでご協力願いたい。

(主な内容)

- ・ 6 月中に固定時間割を確定する。
- ・ 7 月以降各組織において教育課程編成を開始。
- ・ 11 月末には主要な部分を確定し、それ以降は軽微な修正（担当教員、教室）のみとするよう進めていただきたい。
 - * 12 月の全学学群教育課程委員会、学群教育会議にて承認する。
- ・ 平成 26 年度の固定時間割の調整は、平成 24 年度中に行う
- ・ 平成 25 年度開設授業科目一覧は 3 月 1 日時点でのデータで作成する。
 - * エクセルとの併用は不可とし KdB のみで編成いただく。
- ・ KdB への登録は 3 月 31 日まで可能。

2 学期制対応等で昨年以上に大変な作業となるが、学群履修細則等との整合性を踏まえつつミスのないよう十分検討の上編成いただきたい。

【資料名】

- ・ 教育課程（開設授業科目）の編成について

担当

教育推進部教育推進課学群教務

小 山 (TEL:2208 FAX:6303)

E-mail: koyama.koji.fu@un.tsukuba.ac.jp

教育課程(開設授業科目)の編成について

全学学群教育課程委員会
平成24年6月

	教育推進部 教育推進課	支援室等 学群・学類(担当教員)	KdB
6月	全学学群教育課程委員会にて次年度教育課程(開設授業科目)編成方針の決定 固定時間割の決定	次年度教育課程(開設授業科目)の検討	説明会(FD・SD)の開催 * 課程員・支援室向け (共通科目固定時間割の登録→担当教員・教室以外)
7月		履修細則(別表)・読替表の検討	KdB運用開始 カリキュラム委員・支援室入力作業開始
8月		【授業科目項目】 1科目番号 2科目名 3単位数 4実施学期 5曜時間 6標準履修年次 7担当教員 ⑧教室 ⑨授業概要 ⑩備考 ⑪科目等履修生受講可否 * 支援室は編成サポート	
9月	9/7全学学群教育課程委員会にて次年度の開設授業科目一覧・履修要覧作成方針の決定 (平成26年度固定時間割WGの設置→年度内に固定時間割を決定)	開設授業科目一覧レイアウトの確定	◆11月末までに確定する項目 ①科目番号 ②科目名 ③単位数 ④実施学期 ⑤曜時間 ⑥標準履修年次 ⑦担当教員 * 可能な限り確定 ⑧教室 * 共通科目のみ ⑨授業概要
10月			
11月	KdBよりデータを抽出(11月末) 【1回目】	カリキュラム承認のための締め切り	
12月	全学学群教育課程委員会に報告(12/7) 学群教育会議に報告(12月中旬)		◆1月末までに確定する項目 ⑩科目等履修生受講可否
1月		科目等履修生公表のために、「受講可否、受講条件」を確定(1月31日まで)	◆2月末までに確定する項目 ⑦担当教員 (非常勤講師の任用等に伴う変更) ⑧教室 * 各組織
2月	科目等履修生にKdBを開放(2月上旬)	科目等履修生閲覧	2月以降、KdBを停止する場合は適宜連絡する。 ・科目表原稿の抽出 ・新TWINSへ移行時 ・その他 2月以降、科目等履修履修生、在学生には随時公開する。
3月	印刷業者に3/1現在の原稿を入稿(3/1のデータ) 教育推進課編集作業 3月上旬 科目等履修生出願受付 開設授業科目一覧納品(3月中旬)	3/1以降に変更が生じた場合はKdBを修正するとともに、掲示を作成し、学生に周知する。	◆3/1現在のデータを基に開設授業科目一覧を作成
4月	履修申請・授業開始(中旬)	当該年度の修正は「開設授業科目変更願」で教育推進課へ修正依頼	4月以降次年度に向けた科目編成の検討

平成24年度「革新的な教育プロジェクト支援経費」採択一覧

学群

番号	取組組織	取組名称	申請金額(千円)	配分金額(千円)
1	情報学群 知識情報・図書館学類	図書館における探検的学習を目的としたモバイル電子教材の開発	2,000	1,600
2	生命環境学群	生命環境学群G30プログラムにおける専門実験・実習の充実と学群教育のグローバル化推進	2,000	1,500
3	人文・文化学群 比較文化学類	グローバル人材育成のための開かれた学習環境の構築	2,000	1,400
4	情報学群 情報科学類	情報処理教育のための失敗から学ぶ教材の開発	2,000	1,200
5	理工学群 工学システム学類	PDCA支援情報管理システムの構築	1,700	1,000
6	医学群	医学群における学士後期課程の国際化教育システムの構築	2,000	1,100
7	芸術専門学群 (推薦順位2位)	芸術専門学群開設科目の国際化推進に対応したカリキュラム改善	2,000	1,100
8	人文・文化学群 日本語・日本文化学類	日本語日本文化アーカイブス構築に向けての基盤コンテンツ作成・整備プロジェクト	2,000	1,100
9	人間学群 教育学類	初等教員養成課程設置認可による教育課程の実施上の改善	1,900	1,000

11,000 千円

研究科

番号	取組組織	取組名称	申請金額(千円)	配分金額(千円)
1	人文社会科学研究科	国際発信力を持つ日本文化研究者のOJT型養成プログラムの構築	2,000	1,800
2	ビジネス科学研究科 国際経営プロフェッショナル専攻	筑波ショートターム・スタディプログラム活用によるグローバル人材育成	2,000	1,800
3	システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻(前期課程)	GPA導入に向けた適正評価モニタリングシステムの構築と運用	1,700	1,600
4	生命環境科学研究科 持続環境学専攻	学際教育プログラムのアチーブメント・トレーシングシステムの開発	2,000	1,200
5	人間総合科学研究科	TF(Teaching Fellow)制度を活性化するFDの展開	600	600
6	人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻	「プレミアム修士・博士」論文研究プログラムの確立による大学院教育の質の向上と国際化	2,000	1,200
7	人間総合科学研究科博士前期課程 体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻、博士後期課程体育科学専攻、コーチング学専攻、スポーツ医学専攻、体育センター	国際協働学習・海外研修・留学の準備教育プログラム: Imagine the Future in Global TAIKUの展開	2,200	1,200
8	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻	社会人学生の学びを促進するe-learning教材の作成	2,000	1,200
9	教育研究科(スクールリーダーシップ開発専攻、特別支援教育専攻)、人間学群	学校現場における生徒の多様な援助ニーズに応える学生の専門的援助能力育成の取り組み—大学教員の学融的協働を通して—	1,300	1,100
10	システム情報工学研究科 社会システム工学専攻(前期課程)	国際交流協定校との連携による都市計画・開発を担う高度職能人材育成のための国際交流ワークショップ・コアコンテンツの確立	2,000	1,000
11	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻	ソリューション型研究開発プロジェクト	2,000	1,000

13,700 千円

その他

番号	取組組織	取組名称	申請金額(千円)	配分金額(千円)
1	保健管理センター	多文化メンタルウェルネス教育プログラムの開発と実践	1,000	900
2	理療科教員養成施設	視覚障害学生に対する実技授業向上を目的とした視聴覚システムの開発	1,530	1,000
3	留学生センター	留学生のためのデュアルマルチメディアオリエンテーション教材システムの再構築	2,000	700
4	筑波大学附属小学校	小学校5年生を対象にした国際理解教育、異文化交流の体験活動	2,000	700

3,300 千円

配分総額 28,000 千円

取扱注意

平成24年度 学生に係る事件・事故一覧（交通事故を除く）

（4月追加分：3件）

番号	発生日時	学内外の別	発生場所	当事者	概要等	措置等内容
8	4/23 (月) 21:00	外	春日4丁目	女 (芸術専門学部 2年)	自宅アパート前で傘を開いていたところ、不審者に急に後ろから男に抱きつかれた。男は、その後逃げた。雨が降っており、周囲には傘をさした通行人が何人かおり、後をつげられていることに気付かなかったこと。	—
9	4/26 (水) 10:00～ 15:30	内	理科室修士棟前	女 (応用工学環 1年)	理科室修士棟前に自転車を駐輪（施錠有）していたところ、盗難された。 5/2(水)夕方、当該学生が、3A棟前で盗難された自転車を発見し、取り戻した。（犯人は不明）	警察に被害届提出済
10	4/29 (月) 1:00	外	天久保4丁目	バスケットボールクラブ員	4/29(日)、クラブの練習終了後コンパを行い、その後、クラブ員のアパートへ行き寝ていたところ、近隣住民が警察へ通報し、警察官から注意を受けた。	未成年者の飲酒あり 学生生活支援室長及び学生生活課から嚴重注意 関与した者全員からの反省文及び代表学生から、今後の活動に関しての誓約書の提出あり

（5月分：14件）

番号	発生日時	学内外の別	発生場所	当事者	概要等	措置等内容
11	5/3 (水) 6:10	外	春日2丁目	男 (システム情報工学研究 1年) (留)	雨でびしょ濡れの状態であった当該学生が、発生場所にあるマンション（オートロック）に侵入し、大声で叫びながら各部屋をまわったため、住民が警察へ通報し、注意を受けた。当該学生は、早朝、自転車で帰宅途中、道に迷い、大雨であったこともあり知りぬに転倒、怪我をし、助けを呼ぶため当該マンションに立ち寄り助けを求めたこと。	マンションの管理会社から苦情の連絡あり 指導教員から指導
12	5/3 (水) 19:00	内	中央図書館	女 (システム情報工学研究 2年) (留)	中央図書館のPCコーナーで勉強中、荷物をテーブルの上に残したままトイレに行っている間に鞆が盗まれた。同日20:00頃、盗まれた鞆をトイレのごみ箱から発見したが、貯金通帳と現金がなくなっていた。	銀行へ連絡済 警察へは、本人の意向により被害届を提出していない
13	5/6 (日) 21:00	内	平砂女子浴場	女 (不明)	平砂女子浴場の狭い天窓からカメラで撮影している不審者を発見し注意したところ、逃げていった。当該窓下を確認したところ、椅子が立ってかかってあり、それを使用したもよう。	当該椅子を撤去 当該窓をふさぐ工事を施工済
14	5/7 (月) 10:30	内	陸上競技場脇の カーブ道路	女 (不明)	当該学生が、自転車で走行中、不審者が自動車でゆっくり並行運転し、下半身を露出した。	警備員へ巡回を依頼 警察へ巡回を依頼
15	5/7 (月) 22:00	内	一の兵浴場	男 (工学システム学部 1年)	脱いだズボンのポケットに財布を入れたまま入浴した際、財布が盗難された。	警察に被害届提出済

平成24年度 学生に係る事件・事故一覧（交通事故を除く） 取扱注意

16	5/12 (土) 0:00	内	正砂トンネル付近	男 (社会工学類 2年)	サークル仲間が飲酒し、帰宅途中、肩車をしてふざけてあついていたところ転倒落下し、腰を強打、救急車に乗って附属病院に搬送された。	検査結果は異常なし 支度室から、十分注意するよう指導した。
17	5/16 (水) 23:00	内	平砂台場	男 (化学類 3年) (留)	脱いだズボンのポケットに財布を入れたまま入浴した際、財布の中から現金のみがなくなっていた。	警察に被害届提出済
18	5/18 (金) 8:40~ 16:30	内	るるC棟前駐輪場	女 (芸術専門学群 1年)	るるC棟前駐輪場に自転車を駐輪（無施錠）していたところ、盗難された。	警察に被害届提出済
19	5/20 (日) 0:30	外	春日4丁目	女 (心理学類 2年)	自宅アパートでシャワーを浴びている間にペランダから侵入され、リュック（財布、手帳等）を盗まれた。	警察に被害届提出済
20	5/26 (土) 1:20	内	3F棟駐輪場	男 (システム情報工学研究科 2年)	帰宅のために駐輪場に行ったところ、バイクがないことに気づき、警察へ通報した。同日10:00頃、巡回中の警備員が盗難されたバイクを低温センター駐車場にて発見した。当該バイクは、キー挿入口が壊され、放置されていた。	警察に被害届提出済
21	5/27 (日) 18:00	外	天久保3丁目の居酒屋	心理学類 1年 31名	天久保3丁目にある居酒屋で、心理学類1年次31名（ほとんどが未成年）が参加し、学生会の打ち上げ会を行った。参加者の約半数が飲酒を行った。	参加者全員から反復文の提出有り 学類長から厳重注意
22	5/28 (月) 1:00	外	天久保1丁目のカラオケ店	男 (心理学類 1年)	友人数名と当該カラオケ店に行き、トイレに立った際に誤ってガラスの扉に衝突し、破損したガラスで足の甲を負傷した。	上記(21)の2次会
23	5/29 (火) 16:00	外	春日3丁目	女 (人間総合科学研究科 4年)	17:30頃、つくば中央警察署から身元確認の照会があり、当事者と判明した。16:00頃、春日3丁目のマンションから飛び降り、死亡した。	翌日自宅に搬送され、6月3日に告別式が行われた。
24	5/30 (水) 12:30	内	1C206	女 (数理解物質科学研究科 1年)	学類長業の学生実験のTAを行っている際、ガラス製のサンプル瓶の底が破損し、左手中指を深く切った。	附属病院で治療

平成24年度交通事故一覽

取扱注意

(5月分：6件)

番号	発生 月日時刻	学内外別	発生場所	性別(所属・年次)	当事者				負傷状況	事故概要等
					自動車	二輪車	自転車	徒歩		
1	5.9 (水) 11:40	内	松美池前のパ テラストリアン	A:女(生物資源学類 2年)		○			○	Aが、自転車で走行中、ハンドルに掛けてあった荷物が前輪に巻き込まれ、身体が前に投げ出され転倒し、救急車両にて附属病院に救急搬送された。
2	5.14 (月) 14:30	内	大学会館付近 のループ道路	A:男(国際総合学類 4年)		○			◎	Aが、バイクで西側ループを南に向かって走行中、縁石に接触転倒し、救急車両にて附属病院に救急搬送された。
4	5.15 (火) 23:00	内	理科系修士棟 前坂道	A:男(システム情報工学研究科 2年)		○			○	Aが、自転車で走行中、ハンドルに掛けてあった傘が前輪に巻き込まれ、バランスを崩して転倒し、救急車両にて附属病院に救急搬送された。
5	5.17 (木) 11:30	内	追越生活セン ター付近	A:女(医学類 1年) B:男(数学類 2年)		○	○		○	Bが、自転車で走行中、Aの自転車が反対方向の坂から下って来たが、道がカーブしており視込みがあるため気がつくのが遅れ、避けきれずに衝突した。
6	5.18 (金) 8:30	内	大学会館別館 前パテラストリ アン	A:男(情報科学類 2年)		○			○	授業に向かうため自転車で走行中、上り坂途中でバランスを崩し転倒した。
7	5.25 (月) 15:20	内	大学会館別館 前パテラストリ アン	A:男(情報科学類 1年)		○			◎	自宅へ傘を取りに帰る途中、雨で濡れた路面にハンドルを取られ転倒し、救急車両にて附属病院に救急搬送された。

(注) 1. 当事者欄の「留」は、外国人留学生を示す。
 2. 負傷状況の「死」は死亡、「◎」は重傷(全治3ヵ月以上)、「○」は中傷(全治1ヵ月～3ヵ月未満)、「◇」は軽傷(全治1ヵ月未満)、「一」は無傷を示す。
 3. 事故時運行形態欄の「自動車」とは、道路交通法に規定する自動車(自動二輪車を除く)をいう。また、「二輪車」とは、同法に規定する自動二輪車及び原動機付自転車をいう。

第203回第三学群運営委員会議事次第

1 日時 平成24年6月27日(水) 14時30分から

2 場所 3B409 (マルチメディアセミナー室)

3 議題

[審議事項]

- | | |
|------------------------------|-------|
| (1) 前回議事要旨の確認について | 審議1資料 |
| (2) 平成24年度第1学期(7月)卒業判定について | 審議2資料 |
| (3) 平成23年度第三学群(共通)経費決算報告について | 審議3資料 |
| (4) その他 | |

[報告事項]

- | | |
|--|-------|
| (1) 平成24年度第2学期推薦入試及び平成25年度編入学試験の実施について | 報告1資料 |
| (2) その他 | |

[次回開催予定 : 平成24年10月24日(水) 13時30分から 3B409 (マルチメディアセミナー室)]

第43回理工学群運営委員会議事次第

1 日時 平成24年6月27日(水) 13時45分から

2 場所 3B409 (マルチメディアセミナー室)

3 議題

[審議事項]

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (1) 前回議事要旨の確認について | 審議1資料 |
| (2) 平成24年度第1学期(7月)卒業判定について | 審議2資料 |
| (3) 早期卒業者について | 審議3資料 |
| (4) 非常勤講師の任用について | 審議4資料 |
| | 審議4回収資料 |
| (5) 平成24年度理工学群入学試験に係る日程について(訂正) | 審議5資料 |
| (6) 平成24年度理工学群教育戦略推進等経費(総合科目分)の配分について | 審議6資料 |
| (7) 平成23年度理工学群(共通)経費決算報告について | 審議7資料 |
| (8) 理工学群長推薦の各種委員会委員等について | 審議8資料 |
| (9) 理工学群講演会について | 審議9資料 |
| (10) その他 | |

[報告事項]

- | | |
|--|--------|
| (1) 学籍異動について | 報告1資料 |
| (2) 平成24年度第2学期推薦入試及び平成25年度編入学試験の実施について | 報告2資料 |
| (3) 平成24年度「学群教育充実事業」について | 報告3資料 |
| (4) 平成24年度「学群教育用設備整備事業」について | 報告4資料 |
| (5) 平成24年度「革新的な教育プロジェクト支援経費」について | 報告5資料 |
| (6) 組織評価(年次活動評価)について | 報告6資料 |
| (7) 経営協議会報告 | 報告7資料 |
| (8) 教育研究評議会報告 | 報告8資料 |
| (9) 総合政策室会議報告 | 報告9資料 |
| (10) 国立大学工学部長会議報告 | 報告10資料 |
| (11) 2学期制の運用ガイドラインについて | 報告11資料 |
| (12) その他 | |

[次回開催予定 : 平成24年9月26日(水) 13時45分から 3B409 (マルチメディアセミナー室)]

平成25年度理工学詳3年次(学籍番号2011...)在籍予定者数(平成24年5月1日現在)

	入学定員 a	在学者数(2012/05/01)			編入学試験	
		外国人学生 外国人学生 b	私費外国人 c	休学者数 d	募集人員	出願者
数学類	40	42	0	0	若干名	8
物理学類	60	62	1	0	若干名	16
化学類	50	52	1	0	若干名	21
応用理工学類	130	121	2	1	10	55
工学システム学類	130	135	2	0	若干名	89
社会工学類	120	128	2	0	若干名	30
計	530	540	8	1	10	219

※私費外国人については、政府派遣(日本政府負担)を除いた数
 国費留学生、日籍生は定員外(この表の対象外)
 休学者数については、現在許可されている者の数

参考

平成25年度3年次在籍予定	平成24年度編入学試験	
	3年次編入学 限度 e	人数 f (b+c+e-d)
	1	43
	2	65
	1	54
	20	142
	5	142
	1	131
	30	577

募集人員	出願者	合格者	入学者 ()は、国費内数
若干名	9	1	1
若干名	15	2	1
若干名	10	1	1
10	42	16	10
若干名	115	16	11
若干名	36	1	1
10	227	37	25 (0)

※留学生

平成24年度 学年別定員超過率 (平成24年5月1日現在)

	数学類	物理学類	化学類	応用理工学類	工学システム学類	社会工学類	理工学群
入学定員(1年次)	40	60	50	120	130	120	520
入学定員(3年次)				10			10
1年次							
2012入学者	45	64	51	122	135	121	538
一般学生	0	1	0	5	1	2	9
私費外国人留学生	0	0	0	0	0	0	0
休学者	0	0	0	0	0	0	0
定員超過率	112.5	108.3	102.0	105.8	104.6	102.5	105.2
2年次							
2011入学者	42	62	52	121	135	128	540
一般学生	0	0	1	2	2	2	8
私費外国人留学生	0	0	0	1	0	0	1
休学者	0	0	0	0	0	0	0
定員超過率	105.0	105.0	106.0	101.7	105.4	108.3	105.2
3年次							
2010入学者	46	70	55	134	139	130	574
一般学生	0	1	0	2	2	2	7
私費外国人留学生	0	2	1	1	0	2	6
休学者	0	0	0	0	0	0	0
定員超過率	115.0	115.0	108.0	103.8	108.5	108.3	108.5
4年次							
2009入学者	52	65	58	149	140	138	602
一般学生	1	1	0	3	6	2	13
私費外国人留学生	0	0	0	3	1	1	5
休学者	0	0	0	0	0	0	0
定員超過率	132.5	110.0	116.0	114.6	111.5	115.8	115.1
留年者							
一般学生	5	15	2	27	24	34	107
私費外国人留学生	0	0	1	0	3	1	5

※私費外国人については、政府派遣(日本政府負担)を除いた数
 国費留学生、日韓生は定員外(この表の対象外)
 留年者については修業年限を越える在学期間が2年以上の者については、在学者から控除(シラバス等への講義等ごとの学習目標や授業方法及び
 授業計画、並びに成績評価基準の明示が条件)

2012(H24)年度 第4回 知能機能システム専攻教育会議

2012(H24)年度 第4回 知能機能工学域教員会議

日時： 2012年7月11日 10:00~

場所： 3L307 会議室

議題：

<議題番号に下線が施された項目は連携大学院教員に関連が深い事項>

[人事異動]

1. 武井 亜希子さん (事務職員) (7月1日より)

[審議事項]

	ページ
<u>1.</u> 前回議事メモの確認	2
<u>2.</u> 2学期制への移行について(カリキュラム委員会)	4
<u>3.</u> 修了要件の変更(教育改革委員会)	6
<u>4.</u> デュアルディグリープログラム(教育改革委員会)	9

[報告事項]

1. 知能機能システムコアスタディ準備状況
2. 非常勤講師任用願
3. 外部資金受け入れ
4. 学振特別研究員申請状況
5. 短期雇用の注意事項
6. H25年度 教育課程編成
7. 科目履修生
8. 文科省大学改革実行プラン
9. 7月修了 博士・修士
10. 2012年度 第6回 系運営委員会
11. 2012年度 第6回 研究科運営委員会
12. 2012年度 第7回 研究科運営委員会
13. 2012年度 第4回 専攻教授会

専攻内各委員会からの報告

学務、カリキュラム、教育改革、入試、広報、FD、財務、庶務、施設、インターンシップ、サブネット、早期修了プログラム、共用工作など

平成 24年度第 4 回 構造エネルギー工学域教員会議
平成 24年度第 4 回 構造エネルギー工学専攻教育会議
日時: 平成 24 年 7 月 11 日(水)10:00 ~
場所: 3E301

審議

- (1) 前回議事録の確認 2-4
- (2) 研究員(契約職員)の任用について..... 5
- (3) 2学期制の実施に向けたカリキュラム検討について
- (4) その他

報告

- (1) 7 月学位授与について(修士課程2名、博士課程1名) 6-7
- (2) 2学期制の実施に向けた検討状況に関する調査について 8-12
- (3) 専攻カリキュラム委員会(7/3)報告 13
- (4) 学生教員連絡会(7/2)報告 14-16
- (5) 障害学生支援懇談会(7/4)報告 17-21
- (6) 長期履修学生制度に関するアンケート調査 22-26
- (7) H24 年度私費外国人留学生学習奨励費給付制度受給者に係る選考結果 27
- (8) 科研費申請アドバイザーの委嘱について 28
- (9) H24 年度研究助成の募集(パワーアカデミー) 29
- (10) 未成年者の飲酒禁止と強要の防止に係る学生指導の徹底について 30
- (11) 高知工業高等専門学校機械工学科からの見学依頼について 31
- (12) システム情報系運営委員会(2012.06.21)報告 32-42
- (13) システム情報工学研究科運営委員会(2012.06.21)報告 43-80
- (14) システム情報工学研究科運営委員会(2012.07.09)報告 81-88
- (15) 教授懇談会(2012.06.27)報告
- (16) その他

以上

次回:

日時: 平成 24 年 9 月 21 日(金)10:00 ~
場所: 3E301

2012年度 第4回 システム情報工学研究科 リスク工学専攻 教育会議

日 時： 2012年7月4日(水) 16:00～17:45

場 所： 総合研究棟B 1201会議室

出席者： 【糸井川】、稲垣、内山、岡本、金野、鈴木、津田、宮本、【吉田】、伊藤、イリ
チュ、【遠藤】、岡島、片岸、亀山（啓）、【倉橋】、【庄司】、羽田野、ブシャ、古
川、村尾、梅本、谷口、【金岡】（敬称略）

【 】 欠席者

議事録担当：古川

議題

1. 前回議事録確認
2. H25年3月期博士論文審査日程について
3. 各委員会からの審議・報告事項
 - 3.1. カリキュラム委員会
 - 3.2. 達成度評価委員会
 - 3.3. 広報委員会
 - 3.4. 学年・演習担当
 - 3.5. FD委員会
 - 3.6. 予算委員会
 - 3.7. 入試委員会
 - 3.8. 就職委員会
 - 3.9. その他
4. 教授懇談会・研究科・系運営委員会報告
 - 4.1. リスク工学専攻教授懇談会
 - 4.2. システム情報系運営委員会
 - 4.3. システム情報工学研究科運営委員会
5. その他

配布資料

- 12-4-1 2012年度第3回システム情報工学研究科リスク工学専攻 教育会議議事録（案）
- 12-4-2-1 博士論文審査の日程について
- 12-4-2-2 平成24年度システム情報工学研究科学位論文（博士）審査日程
- 12-4-2-3 課程博士（工学、社会工学）の予備審査の手順に関する申し合わせ
- 12-4-3-1-1 平成25年度以降の時間割（案）
- 12-4-3-1-2 平成25年度から実施する2学期制の実施に向けた検討状況に関するアンケート及び
意見・課題等に関する調査について（依頼）
- 12-4-3-1-3 リスク工学専攻公開講座（修正案）
- 12-4-3-1-4 2学期制移行にともなうJSPS国際交流の強化（案）
- 12-4-3-2 平成24年度達成度評価委員会委員名簿
- 12-4-3-4 2012年度リスク工学専攻修士論文中間発表会プログラム（案）
- 12-4-3-6 H24年度リスク工学専攻配分
- 12-4-3-7-1 障害等を有する者からの受験に対する要望について（回答）
- 12-4-3-7-2 ミス防止のためのチェック・リスト
- 12-4-4-1 2012年度第3回システム情報工学研究科リスク工学専攻教授懇談会議事録（案）
- 12-4-4-2-1 平成24年度第5回システム情報系運営委員会議事次第
- 12-4-4-2-2 平成24年度第6回システム情報系運営委員会議事次第
- 12-4-4-3-1 平成24年度第5回システム情報工学研究科運営委員会議事次第
- 12-4-4-3-2 平成24年度第6回システム情報工学研究科運営委員会議事次第

